



「第2回 宮園小チャレンジ・コンテスト」の結果について

廿日市市立宮園小学校
校長 中谷 一志

10・11月に募集した「第2回 宮園小チャレンジ・コンテスト」(通称:チャレ・コン)に、様々なことに自分から進んでチャレンジした16名の児童から14作品(共同制作含む)の応募がありました。審査結果は次のとおりです。

1 最優秀チャレンジ賞

1～3年生の部

◎3年1組 棚田 珠来里 さん「日本の都道府県せいはを目指せ！！」

《校長コメント》

旅行が大好きで、全都道府県に行くことが夢だそうです。そこで、各都道府県の特徴や特産物を書いた、すてきな都道府県制覇マップを作りました。お楽しみクイズや紙粘土で作った都道府県パズルもあり、楽しく見られるマップになっています。このマップは一日くらいではできなかったと思います。見通しを立てて最後までやり切ったところもとても感心しました。

4～6年生の部

◎4年1組 与座 心路 さん「体の中のさいぼう」

《校長コメント》

人間の体を作っている細胞について、大人でも知らないようなことまでとても詳しく調べていて感心しました。図やカットを入れたり、厚紙を使ってページをめくりやすくしたりするなどの工夫もしています。最後の「まとめ」に、人間の細胞は、新型コロナウイルスに負けるかもしれないから「手洗い・うがい」が大切だと、自分の考えを書いているのもいいですね。

2 優秀チャレンジ賞

1～3年生の部

◎3年1組 角本 明日華 さん「月はどうして消えていくの？」

4～6年生の部

◎4年1組 池亀 綾乃 さん「しぜんとかがく！！のはっけん」

3 ユニークチャレンジ賞

1～3年生の部

◎3年1組 正國 誠太 君「おもしろギター」

4～6年生の部

◎4年1組 内藤 さくら さん・原 歩奈 さん「宮園小キャラを考えてみた！！」

4 総評

今回は、第1回の10人から6人増えて16人から応募がありました。調べたことをまとめたものや工作など様々な作品があり、どれも素敵なチャレンジでした。

第3回は、もっとチャレンジする人が増えてほしいと思います。特に高学年からの応募が増えることを期待しています。

※作品は、3年生教室隣の「チャレンジの部屋」に展示しています。